

1 自己評価結果の総括

○ 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

国民投票法の施行に対応する名簿抽出システムを完成し、区選挙管理委員会事務局を対象に制度説明を含めた研修会が実施できた。

投票管理システムについては、当初の計画ではスタンドアロン版で実施する事としていた区選挙管理委員会事務局から、早期導入の強い要望があり、予定していた区以外においてもネットワーク化が進んだ。予定していた規模を超えて進めるにあたって、停電や、機器の不具合、操作ミス等を想定した危機管理体制を強化するとともに、市選挙管理委員会事務局及び区選挙管理委員会事務局における研修のさらなる充実を図った。その結果、7月執行の参議院選挙において、名簿対照が一層スムーズになった。当初の予定と比べ市内全投票所内でのネットワーク化までの期間も短縮でき、統一地方選挙で達成できる見込みとなった。今後さらに危機管理体制を含めシステムの機能の向上をめざし、選挙人の利便性の向上及びシステム利用の快適性を実現できるよう引き続き取り組んでいく。

また、都市圏の投票率の向上に寄与するためにも、若年層の投票率の向上が必要であり中長期的な観点から、ヘッドスタートプログラムの実施に取り組みたい。

○ 解決すべき課題と今後の改善方向

期日前及び当日投票システム等、選挙の執行にあたって、IT化が進んでいるため、システムの運用状況が円滑な選挙執行に多大な影響を与える。停電時等における対応マニュアル、サポート体制等の強化が必要であると考えます。

また、区役所を中心とした選挙執行体制、ノウハウの継承方法等の検討も重要である。